

第148回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年7月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,924	-1.11	-0.02	4,044	-0.07	0.00
東部地区	14,246	-0.73	0.11	5,575	0.26	0.07
西部地区	10,862	0.76	0.11	4,005	1.98	0.04
駅南地区	6,413	-0.15	0.06	2,666	1.98	0.22
半田地区	3,566	1.56	-0.02	1,315	2.89	0.30
横山地区	5,658	-0.66	0.30	1,840	-0.75	0.10
茨目・田尻地区	6,892	-0.70	0.10	2,282	-1.76	-0.04
荒浜地区	5,216	-1.21	0.05	2,024	0.24	-0.14
その他地区	21,365	-1.97	-0.14	7,175	-0.60	-0.02
西山町地区	6,444	-1.90	-0.38	2,146	-0.27	0.00
高柳町地区	2,019	-3.30	-0.14	846	-1.16	0.00
柏崎市計	92,605	-0.92	0.00	33,918	0.20	0.03
刈羽村	4,974	-0.34	0.00	1,541	1.85	0.12
小国地区（長岡市）	6,563	-1.36	0.00	2,162	0.55	0.09
出雲崎町	5,293	-1.69	-0.13	1,826	0.00	-0.05
合計	109,435	-0.96	0.00	39,447	0.27	0.03

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で866人、0.92％、刈羽村で17人、0.34％、小国地区（長岡市）で91人、1.36％、出雲崎町で91人、1.69％とそれぞれ減少し、全体では1,065人、0.96％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で1人、0.00％、出雲崎町で7人、0.13％と減少したことから、全体では8人、0.00％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では柏崎市で69世帯、0.20％、刈羽村で28世帯、1.85％、小国町で12世帯、0.55％と増加し、全体では109世帯、0.27％と増加している。

また、前月比においても、柏崎市で12世帯、0.03％、刈羽村で2世帯、0.12％、小国町で2世帯、0.09％と増加したことから、全体では15世帯、0.03％の増加となった。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,038		-6.23		-11.43	
月間有効求職者	1,007		-5.35		-5.08	
月間有効求人倍率	1.03	0.72	-0.01*	-0.21*	-0.07*	0.02*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,038人と前年同月比で69人、6.23％の減少、前月比でも134人、11.43％と大幅に減少した。

一方、月間有効求職者数も1,007人と前年同月比で57人、5.35％の減少、前月比でも54人、5.08％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.03倍と前年同月比で0.01ポイント下回り、前月比でも0.07ポイント下回った。なお、県平均0.72倍に対しては0.31ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が365人と前年同月比で24人、7.04％の増加、月間新規求職者数も267人と前年同月比で15人、5.95％と増加した結果、月間新規求人倍率は1.37倍と前年同月の1.35倍に対して0.02ポイント上回った。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年7月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	88	81	-18	423	330
共 同 住 宅	2	1	2	2	-5
事 務 所	2	1	2	5	2
作 業 所 ・ 工 場	1	0	-2	9	-1
営 業 建 物	3	1	-7	22	9
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	8	7	-12	58	17
合 計	104	91	-35	520	352

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が104件と前年同月比で91件の増加となったが、前月比では35件の減少となっている。工種別内訳の主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）で81件と大幅に増加、前月比では同じ一般住宅（併用）で18件の減少となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が53件、増築が33件、改築が18件となっている。また、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が44件（うち新築17件、増築17件、改築10件）、市外施工業者が44件（うち新築26件、増築10件、改築8件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	66,414	2.68	0.34	15,575	5.82	1.05
電 力	11,619	-5.40	0.05	49,615	14.71	11.73

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,734口、2.68%の増加、前月比でも227口、0.34%の増加となった。一方、電力では前年同月比で664口、5.40%の減少、前月比では6口、0.05%と増加している。

使用量においては、電灯が前年同月比で857kwh、5.82%の増加、前月比でも162kwh、1.05%と増加している。一方、電力は前年同月比では昨年7月の中越沖地震の影響もあり6,365kwh、14.71%と大幅に増加、前月比でも5,212kwh、11.73%の大幅な増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	871,472	-10.00	-23.34	713,791	-0.26	-1.59
営 業 用	242,407	40.39	24.86	133,867	9.42	2.27
工 場 用	808,352	78.47	15.32	150,699	23.75	10.64
官 公 学 校 用	422,592	99.60	89.34	106,827	45.96	19.90
そ の 他				201	-88.57	-28.21
合 計	2,344,823	29.85	3.97	1,105,385	6.82	2.17

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、前年同月比では中越沖地震による供給停止の影響から539,156m³、29.85%と大幅に増加、前月比でも89,625m³、3.97%の増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比ともに家庭用を除く全ての用途で大幅に増加している。

一方、水道給水量においても、前年同月比では中越沖地震による断水の影響から70,629m³、6.82%の増加、前月比でも23,580m³、2.17%の増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比ともに家庭用、その他を除く全ての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	99,496	-19.80	11.58	104,250	16.41	11.31
西 山	64,569	-30.17	10.68	61,733	-36.69	12.99
米 山	31,354	-34.72	27.79	29,327	-49.03	27.99
合 計	195,419	-26.13	13.59	195,310	-20.15	14.08

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で69,158台、26.13%の大幅な減少となったものの、前月比では23,381台、13.59%と増加している。一方、出口においても、全体では前年同月比で49,290台、20.15%と大幅に減少したが、前月比では24,116台、14.08%の増加となっている。インター別の内訳を見ると、前年同月比では柏崎インターの出口を除く全てのインターの入口・出口で大幅に減少し、前月比においては全てのインターの入口・出口で大幅に増加している。なお、前年同月比については、昨年の中越沖地震での市外からの支援活動による高速道路の利用が影響している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	353,849	6.15	-0.48	143,354	4.69	0.64
平 残	353,565	7.07	-0.15	141,122	3.83	0.57

預金は、末残が前年同月比で20,509百万円、6.15%と増加したものの、前月比では1,739百万円、0.48%と減少している。また、平残においても前年同月比で23,369百万円、7.07%と増加したが、前月比では548百万円、0.15%の減少となった。一方、貸出金においては、末残が前年同月比で6,431百万円、4.69%の増加、前月比でも925百万円、0.64%と増加している。また、平残においても、前年同月比で5,210百万円、3.83%の増加、前月比でも806百万円、0.57%の増加となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,419	-7.52	-4.61
交 換 金 額	4,516	-14.54	-14.33
不 渡 り 手 形 枚 数	0	0.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	0.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で441枚、7.52%の減少、前月比でも262枚、4.61%と減少している。また、交換金額においても、前年同月比で769百万円、14.54%の減少、前月比でも756百万円、14.33%と減少した。なお、不渡手形は発生していない。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は5件（前年同月4件、前月3件）、負債総額13億円（同38億円、同6億円）、1件当たりの負債額2億円（同9億円、同2億円）となった。

地区別では下越地区で5件（新潟市1件、佐渡市1件、村上市1件、東蒲原郡2件）発生したが、中越地区、上越地区では発生していない。業種別は建設業1件、販売業2件、サービス業・その他2件で、倒産原因別の状況は販売不振3件、その他2件となっている。

当月の企業倒産は5件、負債総額で13億円と前年同月比では件数で1件増加、負債総額で25億円減少している。なお、負債10億円以上の大型倒産の発生はなかったが、件数では前年同月、前月を上回っている。

経済環境は、ガソリンや食料品など最終製品の価格上昇を受けて個人消費が減速する懸念から、先行き警戒感は今後も高まっていく可能性もあり、今後の企業倒産件数は増加基調で推移していくことが予想される。